

事務事業名		市民活動モデル町会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	行政経営部	担当課	市民活動促進課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	市民活動促進係		担当課長名	石田 光	
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	3 地域自治組織の確立					実施計画事業・一般事業		実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	1954	一般	2	1	14	市民活動モデル町会支援事業						
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	23年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市市民活動モデル町会支援事業交付金交付要綱					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
	事業区分						実施方法		直営			
事業区分						事業分類		支援事業				
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし				
事業区分						市長マニフェスト		5-3				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
町会の自主的な地域活動を促進し、住民主体の住み良いまちづくりを広げるために、モデルとなる町会を指定し、助成金の交付や、広報の手助けなどをもってその活動を支援する。対象は、道路・河川の除草清掃活動、地域環境美化、貴重な自然資源の保護、地域の一体感の醸成、住民相互扶助に関する活動で、一町会につき、2年間の指定を原則とする。	・助成団体の決定: 昨年度からの3町会(上羽田町会、閑馬上町会、米山南町会)と、1年目申請2町会(村上町会、菊川町会)(審査会審査あり)の5町会を決定 ・活動紹介: 情報紙シャイニングアイ(11月、2月)で活動を紹介 ・事業報告会(市民活動推進委員会委員を対象に): 3月18日(水) 佐野市市民活動センター						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	モデル町会が実施する取組み	件	3	5	4		
	モデル町会数	団体	3	5	4		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

町会	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市内の町会数	団体	167	167	167		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

モデル町会の指定の下に、住民が主体的に地域づくりに取り組む。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	地域づくりの取組みを計画通り実施できた町会数	団体	3	5	4		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

それぞれの地域自治組織が活発に活動している。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	市民活動モデル町会応募町会数	町会	3	5	8	9	10

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		300	438	500						
	事業費計(A)	千円		300	438	500		0			0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	300	交付金	438	交付金	500				
	人件費	千円	2		2		2					
のべ業務時間	時間	300		300		300						
人件費計(B)	千円	1,167		1,182		1,182		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,467		1,620		1,682		0		0		

事務事業名	市民活動モデル町会支援事業	担当部	行政経営部	担当課	市民活動促進課	担当係	市民活動促進係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市民協働の重要なパートナーである町会が、自らの地域づくりに関心を高めるために平成23年度から実施した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地域連帯感の低下や住民の高齢化、核家族化などで、地域で物事に対処していく風土が薄れており、地域課題への対応を行政に依存する傾向が強まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民協働に地域の協力は欠かせない。モデル町会の活動を継続発展することにより地域づくりへの関心を高め、市と地域が一体となって公共サービスを展開する意識を醸成する必要がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	募集時の応募町会を増やすため、町会長連合会の理事会や、各町会長への通知にモデル町会支援事業の案内を含めて周知を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	モデル町会支援事業により、意欲的に取り組む町会を育成することは、上位目的である市民活動の環境整備と支援につながるものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民との協働のまちづくりを推進するには、重要なパートナーである町会が自ら地域づくりに取り組む姿勢を育成する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	事業は地域住民が主体的に町会づくりに参画することで地域づくりを進めることを目指しており、対象と意図が結びついている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	模範となるモデル町会の取組みを支援することで、他の町会への啓発が図られる。ただ、交付金の終了以降は町会の独自予算での実施となるので、モデル指定中にある程度の成果を上げ、継続的な活動につなげる必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	1町会10万円の交付金は、事業取り組みの動機付けに必要な交付額であり、また、モデル町会の指定は、隔年ではなく毎年としたいので、現状の5町会は必要と考える。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	この事業の受益者は、モデル町会に指定された方々である。経費についてはすべて支援している訳ではなく、審査会で内容を審査し、必要に応じた額を支援している。その他の経費は受益者の負担となっている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
モデル町会を置かずとも、住民が主体となって地域課題に取り組む活動が盛んになったときには廃止できる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・市民活動モデル町会支援事業の周知を図り応募町会を増やすとともに、モデル町会が事業を完了し、指定後も事業を継続するよう指導する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	町会長の集まりなどでPRを行うが、町会の規模や役員の考え方で事業への関心はまばらである。事業の成果を他の町会に伝える方を検討する。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			